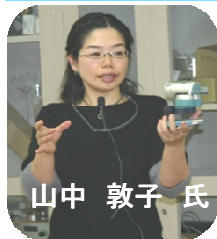


Toyota Hands-On Museum



山中 敦子 氏

化石発掘にチャレンジ！

魚の骨など発見 19人参加

2月11日、ワークショップ「化石発掘にチャレンジ！」が開催され、小学5年生～中学1年生19人が参加しました。今回の講師は、蒲郡市生命(いのち)の海科学館学芸員の山中敦子氏です。

まず、「化石やいん石は大むかしのことを知るための大切な手がかり」ということなど画像を見ながら説明を受けました。その後、アメリカ ワイオミング州グリーンリバーの頁岩(けつがん)のかけらを個々に選んで化石発掘を開始しました。この石は、4500万年前のもので、魚など水に関係する生き物の化石が発掘されます。科学館や博物館に展示してあるものと同じ場所の石だと聞いて、期待も高まります。

太いくぎとかなづちを使って石の側面を地層をはがすように割り、小さなくぎとかなづちでそっと振動を与えて化石の上にかぶさっている岩石を割りとり、はけで細かい土をはらって、顕微鏡などで観察します。どの子も真剣に取り組み、魚の骨などの化石が見つかりました。そして、どこで採集された、どんな化石か分かるように標本ラベルを書き、化石と一緒に袋に入れました。

最後に、建物に岩石が使われるので、その中に化石が含まれているという話から、当館でも化石が見られるということも教えてもらいました。例えば、当館入口から地下に下りるスロープの手すり部分にサンゴの化石があります。化石が身近に感じられた1日でした。

「むずかしかったけれど、とても楽しかった。」(小5、男)、「楽しかったけれど、もっと発掘する時間が長く、石も多いとよかった。」(小6、男)という感想がありました。



ものづくりサポーター自作展示物

館内 新たに2点 設置

昨年末、ものづくりサポーター自作の展示品が2点増えました。「オーマイガット!？」と「からふるステンドグラス」です。

「オーマイガット」は、ガット(網)の表と裏を手のひらではさみ、そのまま手を滑らせるようにガットをなでるとふしぎな感触が体験できます。「カラフルステンドグラス」は、手前にある透明な板を回転させると、後ろのステンドグラスのような絵の色が変化します。ステンドグラスの絵は、冬の星座絵が描かれていますが、今後他の季節の星座絵も制作していきます。

一度、見て触れてみましょう。



↑オーマイガット!?



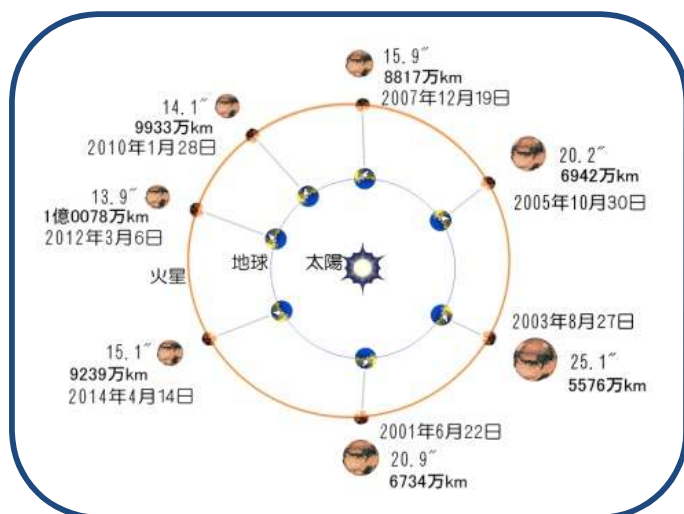
↑からふるステンドグラス

星空を見上げて①

★火星の最接近★ 3月6日、2年2か月ぶり

2011年の年末から、しし座のレグルスと並び、オレンジ色の星「火星」が3月6日に地球に最接近します。

火星は、2年2か月ごとに地球と接近しますが、太陽を回る軌道がややつぶれた楕円なので、地球と接近距離が毎回異なります。今回は、ここしばらくの中では距離が最も遠い位置になる「小接近」です。それでも最接近の前後では、明るさは-1.2等級と、春の星空の中で際立って明るく目立つでしょう。



くわしくはホームページをご覧ください。

URL <http://www.toyota-kagakutaikenkan.jp>

管理・運営：公益財団法人 豊田市文化振興財団

とよた科学体験館 (産業文化センター内)
〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1-25
TEL (0565)37-3007 / FAX (0565)37-3012